

経営比較分析表（令和3年度決算）

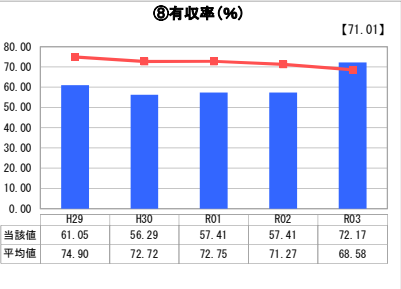
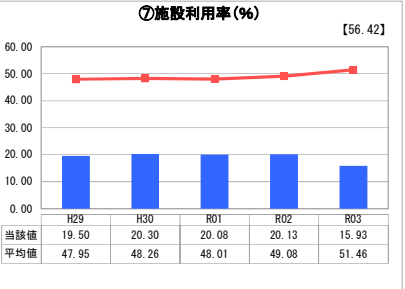
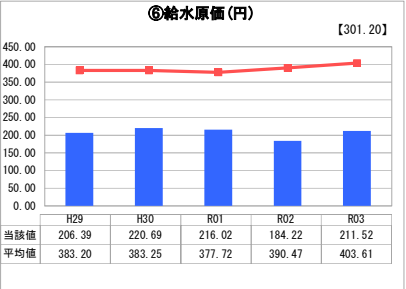
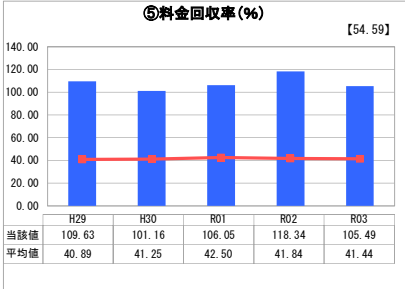
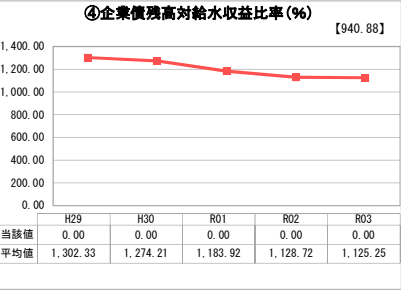
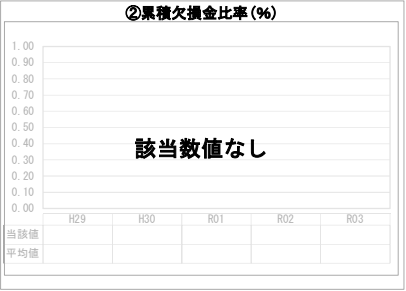
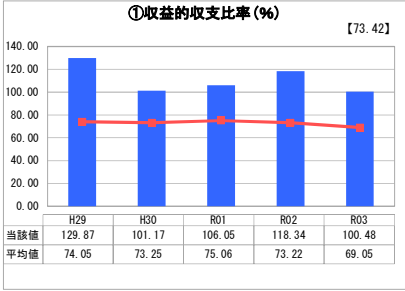
新潟県 粟島浦村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	100.00	3,960	

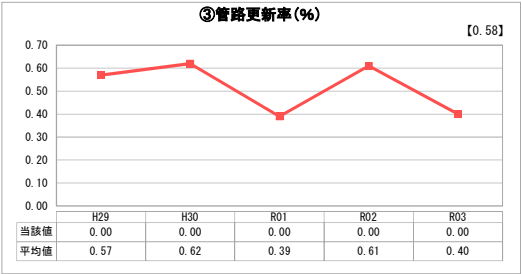
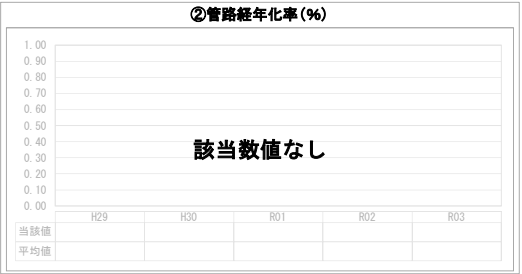
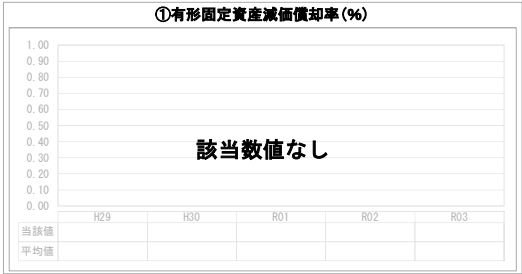
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
338	9.78	34.56
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
316	1.75	180.57

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、毎年度100%を上回っている状況が続いており、経営状況は健全な水準にあるが、令和3年度は100.48とちょうど100%を上回った程度であり、更なる費用削減が必要である。

料金回収率は、毎年度100%を上回り、令和3年度も105.49%となるなど、類似団体平均（41.44%）と比較しても大幅に上回っており、経営に必要な経費を料金収入で賄うことができています。

一方、給水原価は、類似団体平均と比較すれば下回ってはいるものの、緩やかな上昇傾向にある。これは大口利用となる民宿の減少や観光客の減少に伴い、有収水量が減少傾向にあることが要因の一つと考えられる。

施設利用率は、令和3年度は15.93%であり、類似団体平均と比較すると低い水準にある。これは、給水人口が減少していることなどによるものであり、今後、水需要の動向によって施設規模の見直しを含めた効率的な事業運営計画を検討する必要がある。

有収率は、類似団体平均を下回っていたが、令和3年度は72.17%と、類似団体平均を上回った。これは、人口減や民宿などの宿泊施設の減少から、有収水量が減少してきたためであると考えられる。

2. 老朽化の状況について

簡易水道事業の管路更新投資の実施状況を示す過去5年間の管路更新率が0%となっている。これは平成19年までに石綿管から塩ビ管に更改したためである。

令和5年度に新たに地域水道ビジョンを策定する予定である。その際に、経年化の進む水道施設や送水管路等の健全度を適切に評価し、健全経営を維持しながら計画的に進めていく予定である。

全体総括

現在、経営の効率性、健全性は概ね確保されているといえる。しかしながら、少子・高齢化の進行や、給水人口、大口利用民宿の減少等により、料金収入の減少が見込まれ、維持管理費が増加傾向にあり、更なる経費節減に努めていく必要がある。さらに、各指標の傾向を十分に分析し、資産維持等の対策を講じる必要があり、今後も施設の老朽化に備えた処理場施設等の計画的な更新を行い、健全な事業運営に努めていく。